



HOW TO DESIGN CREATIVE TIME.

自分が
いなくとも
うまくいく
仕組み

これからの
チームマネジメントを
再定義する本

山本敏行

チャットワーク株式会社
代表取締役

全社員が経営を学ぶ

当社では、入社2年目を迎えた社員を、日本創造教育研究所の「業績アップ6カ月特訓」という研修に派遣して経営を学ばせています。

この研修は、毎月2日間、半年にわたって行われ、参加者が経営や財務、顧客満足について学びます。経営者の視点を身につけることで、経営者の理念やビジョンをより深く理解できるようになり、チームのベクトルを揃えやすくなります。また、社員自らの将来のキャリアパスも描きやすくなり、仕事への意欲が増す効果も期待できます。

一般的に経営というと、部長以上の経営幹部が学ぶものと考えられています。この研修も、参加者のほとんどが、40代以上の経営幹部の方々です。しかしスタッフは将来の経営幹部なので、できるだけ早めに経営幹部の視点を学ばせることで経営者やリーダーの言っていることがストーンと腹に落ちるため、スタッフにいくら言っても伝わらないということがなくなります。

企業内の部署リーダーの方がまったく同じことをするのは難しいと思いますが、そのような場合は「リーダーの視点をスタッフに伝える」と考えてください。

経営を学ぶということは、大局的な視野を学ぶことと同義です。現場のスタッフはどうしても近視眼的に物事を見てしまうものですが、それではリーダーと同じ仕事をすることはできません。大所高所からの視点をスタッフに伝えることを意識しましょう。

リーダーも現場を学ぶ

ただし、スタッフが経営的視点を身につければ、それで良いというわけではありません。
ん。

高いところから広い範囲を見ていると、細かいところがわからないこともままあります。状況によっては、スタッフの視点が参考になることも多々ありますので、経営者や部署リーダーも、現場からはどのように見えるのかを把握し、スタッフの意見を定期的